



5月

「地域交流会」 「笹巻き作り」

庄内の笹巻き 豆知識

笹巻きは、昔から、五月五日に子供たちの成長を願って、また旅立ちに無病息災を祈って作った食べ物と伝えられています。五月の端午の節句の頃、もち米を笹の葉で巻いて茹でて作られる春から初夏にかけての、庄内地方独特の伝統食のひとつです。

庄内地方の笹巻きには大きく分けて北庄内の白い笹巻きと、南庄内の黄色い笹巻きがあり、葉でくるんだもち米をそのままゆでる白い笹巻きに対し、黄色い笹巻きは灰汁(あく)で煮込むことでもち米が黄色になり、ぶるんとした食感になるのが特徴だそうです。なお、巻き方にも「こぶし巻き」「たけのこ巻」「三角巻き」等があります。

端午の節句に地域の方と一緒に毎年恒例となっている笹巻き作りを行いました。一年に一度ということもあり、これまで毎年作ってきた方も巻き方を忘れ、最初は戸惑う場面もありました。しかし、笹の葉を手にとると、笹の葉で形を作り、もち米を入れて紐で結ぶ作業を徐々に思い出し作り始めました。上手く出来ないところは地域の方が丁寧に教えて下さり完成することが出来ました。人それぞれ巻き方が違い、同じ地域内でも家庭によって受け継がれた形があるんだなと感じました。巻くことになれてくると、笹を見ながら山の話で盛り上がりつつたり、談笑しながら巻く余裕も見られました。

最後は満足した出来映えであったのか、みんな笑顔が見られました。きつと家族や近所の人達と笑いさざめきながら作り味わうことも、この季節の楽しみなのではないでしょうか。教えに来てくれた地域の方々、ありがとうございました。

(加々谷 典子)

ほなみで行っている

ちっちゃくて

大きな工夫

ほなみでは子どもたちとのふれ合いを大切にしています。

鳥海小学校の登校時の見守り隊では、子どもたちの元気な姿と明るいあいさつが入居者の心に響き嬉しい気持ちになります。

本楯保育園児とは、掃除ボランティアを通して園児たちが手を振ったり、笑顔で「おばあちゃん」と寄ってきて入居者も自然と笑顔がこぼれます。無邪気に笑う園児達につられて楽しい気分になります。



認知症になると、それまでできたことができなくなり、本人は自信を無くし不安が大きくなります。

そんな時に、子どもたちの明るい声や無邪気な笑顔に接すれば、それだけで嬉しい気持ち、楽しい気分になり安心して穏やかに過ごす事ができると期待しています。

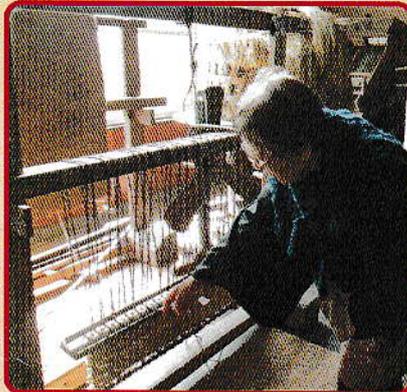


5/6 八幡ドライブ

平和の鐘を突き、みんなの幸せを願って来ました

4/9 遊佐郷土展示館

昔使用した多数の道具をみて皆さんとても懐かしんでおられました



4/17 家族の日

美味しいお寿司に自然と笑顔も



ほなみの日常

写真会や誕生日会等、室内でも様々な行事を楽しんでいます



ほなみ写真館



編集後記

田んぼは緑一色に彩られ爽やかな風景。ツバメは子育てで忙しく飛び交い、夜は蛙の合唱で賑やかです。これから梅雨の時期を迎えても、自然からパワーをもらい、生き活きと過ごしていきたいな。
(相澤 シゲ)

お知らせ

六月
童謡コンサート(二日) 本楯小学校運動
会参加(五日) スポーツ民踊(十七日)
上田踊り教室(二十九日)
七月
地域交流会・流しソーメン(十一日)

ある日のほなみ
毎週金曜日に晩酌をしています。ビールや日本酒、手作りのレモン酒から好きな物を選び、歌ったり語ったりしているのですが、先日旦那様の話で大盛り上がり。「お父さん」と呼ぶ人もいれば「あなた」と呼ぶ人も。中には「恥ずかしくておしえらんね」と言う方もおり笑いに包まれました。
(土田 結佳)